

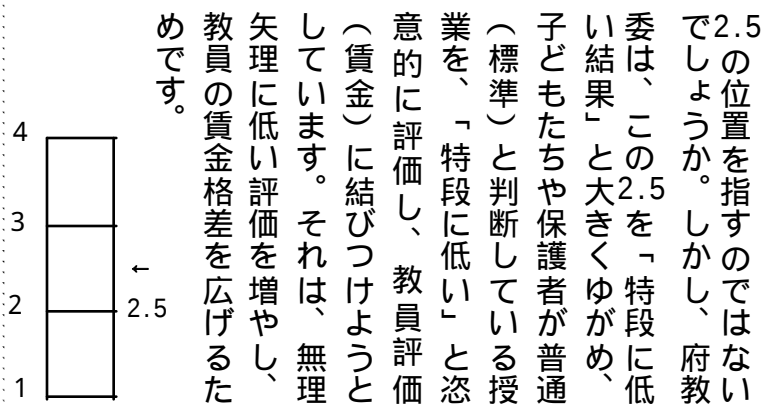
えく！「標準」を「特段に低い」と評価？

「授業アンケート」の悪用はゆるぎられません！

子ども 保護者の評価を勝手に上げる

客観公正ではない「アンケート結果」で「検定」し「ふるい」落とす

府教委は今、「授業アンケート（以下アンケート）」の結果を大きくゆがめ、それを教員の評価（賃金）に結びつけようとしています。「アンケートは、「そう思う（4）」、だいたいそう思う（3）」、あまり思わない（2）」、思わない（1）」と普通（標準）の項目がない、いびつなものになっています。



「授業アンケート」を

「賃金」に結びつけるのは、大に問題がある

「授業を見ずにアンケートに答えられない」（保護者）「教育の仕事は複雑。保護者や生徒へそれを求めると、生徒つけする授業」が高評価されかねない」（元校長）「今まで築き上げてきた学校と保護者との深い信頼関係がいつぱんに崩れ

る」（教育長）など、2年前の導入時、保護者や教育関係者から大きな批判がおりました。これらの批判から、府教委も「授業アンケート」は客観公正とはいえない。賃金に結びつけることには問題がある」と認めています。

さらに府教委は、「トンブソン検定」という測定ミスなどを判定するための「検定」を評価基準にもちこもうとしています。そもそも「アンケート」結果は、参考程度で実施されたもので、客観公正なものではありません。

府教委は管理職に対し、この「みせかけの数値」をより重要視して、授業評価することをおしつけようとしています。このようなことを強行すれば、これまで

「アンケート」は個人情報です。府教委には、個人情報保護法にもとづき「アンケート」の目的は何か。どのように使うのか。その取り扱いを保護者や子どもたちへわかりやすく説明する責任があります。府教委は、「アンケート」導

府教委が「評価育成システム」は絶対評価であり、客観公正が保たれ恣意的な評価はない」と主張していることさえ、自ら崩してしまつ危険性をもつものです。

*トンブソン検定とは
母集団の中にバラツキか、あるいは何らかの測定ミスなのかを判定するもの。



保護者や子どもたちの説明責任は？

入時、その目的を「授業改善にいかす」と説明しています。今回の改定案では、明らかにその目的と逸脱したものに活用（悪用）しようとしています。その説明もないまま強行することは、個人情報保護法違反となり、断じて許されません。

行こうよ！青年フェスタ

2 / 14(土)～2 / 15(日) 箕面観光ホテル

14日 記念講演「今こそ学ぼう憲法を！」伊藤 真さん

15日 実技講座 「たのしい算数、ヨガ、作文指導」など

元気とおみやげ教材もってかえろう！
日帰りOK！

泉北教組は、「アンケート」を悪用しての評価育成システムの改定は、教育をゆがめ、教職員、子ども、保護者の信頼関係をくずすものとして、反対・撤回を求めています。今回の「システム改定」にかかわって高石市教委・忠岡町教委と交渉し、裏面に記載の確認を得ました。府教委の強行を撤回させるために、泉北教組は運動を強めます。

「集団的自衛権」の行使反対。教え子を再び戦場に送るな。